

新しい薬学をめざして

Vol. 53 No. 1
2024.1.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8

E-mail sigma-info@faruma.co.jp

一般社団法人大阪ファルマプラン 気付

郵便振替口座 01090-8-16463

TEL 06-6477-8088 (担当 廣田) FAX 06-6477-8090

URL <http://pha.jp/shin-yakugaku/>

新薬学者集団 2023 年度講演会



731 部隊と大学 (3) —戦犯逃れと現代の課題—

吉中文志

戦争犯罪の免責

731 部隊の非人道的な人体実験や細菌戦、毒ガス戦は当時も明白な戦争犯罪でした。連合国はナチスドイツの医師犯罪 (A 級戦犯) をニュルンベルグ裁判にかけましたが、東京裁判では 731 部隊関係者を訴追しませんでした。アメリカ政府が石井四郎ら 731 部隊の研究者に対する免責と引き換えに細菌兵器や毒ガス兵器の資料を専有する方針を取ったためです。対ソ戦略という政治マターを優先し倫理や社会正義をゆがめたもので、アメリカ政府のダブルスタンダードが明らかになった出来事でした。なお、残虐行為や捕虜虐待などによって BC 級戦犯として裁かれた軍医は少なからずいました。

石井らが提供した多くの資料はアメリカで保存され、長い間目にすることができませんでしたが、その後情報公開が進み、一部は日本に返還されました。アメリカ軍による数次にわたる 731 部隊に関する調査報告書、アメリカ政府と GHQ とのやり取りの電文などを閲覧することができます。マレー・サンダース、アーヴォ・トンプソン、ノーバート・フェル、エドウィン・ヒルら (多くは軍医) が日本に派遣されましたが、作成された各報告書には 731 部隊の実態に迫る内容が記されています。

アメリカ諜報機関は終戦前に 731 部隊の BC 兵器 (生物化学兵器) 研究に関する情報を把握しており、終戦後のこれらの公式調査とは別に暗躍していたことも明らかになっています。日本においても新たな資料の発見が続いており、今後の研究の更新、深化が期待されます。

日本医師会の責任

731 部隊に関与した研究者は戦争犯罪の追及を逃れて、大学をはじめとする医学界に復帰し

目 次

□731 部隊と大学 (3) —戦犯逃れと現代の課題— 吉中文志…………… 247
□ミニゼミ報告 (1) 福島のみま (その 92) 佐藤政男…………… 252
□エッセー “一人ぶつぶつ思うこと” (5) 薬局での漢方薬使用に関して思うところ—漢方薬治療 に関心が高い背景— 工藤克己…………… 259

□書籍「薬害コロナワクチン後遺症」 緒方信明…………… 261
□玉枝の平和だよりから (21) PFOA 汚染問題で「ダイキン淀川製作所 (摂津市) 工場 周辺見学と学習会」 竹内洋蔵…………… 262
□2023 年度第 6 回運営委員会報告…………… 263